調査依頼書（CentreCOM® ***FS708TP V2***）

年　　月　　日

一般事項

1. 御社名：

　部署名：　　　　　　　　　　　　　　　　　ご担当者：

　ご連絡先住所：〒

　TEL：　　　（　　）　　　　　　　　　　　FAX：　　　（　　）

2. 購入先：　　　　　　　　　　　　　　　　購入年月日：

　購入先担当者：　　　　　　　　　　　　　連絡先（TEL）：　（　　）

ハードウェアとネットワーク構成

1.ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号（S/N）、リビジョン（Rev）

　製品名：　CentreCOM FS708TP V2

　S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　Rev＿＿＿

2.お問い合わせ内容　　　□別紙あり　　□別紙なし

　□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

3.ネットワーク構成図　　　□別紙あり　　□別紙なし

　簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

PN J613-M6906-01 Rev.A 020515

Allied Telesis

ファーストイーサネット・タップスイッチ

CentreCOM® ***FS708TP V2*** ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS708TP V2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、10BASE-T/100BASE-TXオートネゴシエーションポートを8ポート装備したファーストイーサネット・タップスイッチです。
本製品の使用により、既存のイーサネットLANシステムにおけるアプリケーションやネットワークソフトウェアの変更を必要とせずに,簡単にパフォーマンスを向上させることができます。
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

特長

- ○ フローコントロール機能（Half Duplex時：バックプレッシャー、Full Duplex時：IEEE 802.3x PAUSE）をサポート
- ○ オートネゴシエーション機能をサポート
- ○ カスケードポートを1ポート装備
- ○ 信頼性の高いストア＆フォワードのスイッチングモード
- ○ 8K（最大）のMACアドレス登録数をサポート
- ○ AC電源を内蔵
- ○ ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備
- ○ マグネットでスチール面への設置可能

梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかどうか確認してください。

- □ CentreCOM FS708TP V2本体 1台
- □ 製品保証書 1枚
- □ お客様インフォメーション登録カード 1枚
- □ シリアル番号シール 3枚
- □ ユーザーマニュアル（本書） 1部

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

各部の名称と機能

前面

背面
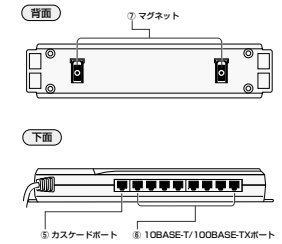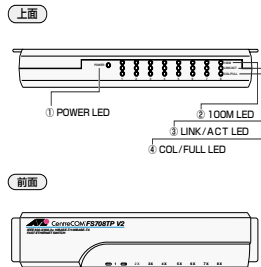
図1　外観図

① **POWER LED（緑）**
電源が供給されているときに点灯します。

② **100M LED（緑）**
ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。
（ポートが10Mbpsで動作している場合は、点灯しません。）

カスケードポート（= HUBポート）の100M LEDは、ポート1（X PCポート）と共用になっています。

安全のために

必ずお守りください

警告　下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物は入れない　水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。
本製品はAC100-240Vで動作します。

電圧注意

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

プラグを抜け

電源ケーブルを傷つけない。
火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 熱器具に近づけない、加熱しない。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

- 石油・みがき・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

シンナー類不可

③ LINK/ACT LED(緑)
ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがパケットを送受信しているときに点滅します。

カスケードポート(= HUB ポート)の LINK/ACT LEDは、ポート1(X PCポート)と共用になっています。

④ COL/FULL LED(緑)
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。また、コリジョン発生時に点滅します。
(ポートが Half Duplex で動作している場合は、点灯しません。)

カスケードポート(= HUB ポート)の COL/FULL LEDは、ポート1(X PCポート)と共用になっています。

⑤ **カスケードポート(= HUB ポート)**
100BASE-TX、または 10BASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクターです。 これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Full Duplex/Half Duplex)を自動設定します。

カスケードポートはポート 1 と共用のため、ポート 1 を使用している場合は使用できません。

⑥ **10BASE-T/100BASE-TX ポート**
100BASE-TX、または 10BASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクターです。 これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Full Duplex/Half Duplex)を自動設定します。

⑦ **マグネット**
デスクサイドやスチール製パーティションなどに設置するためのマグネットです。

設置するまえに

● **設置場所**
本製品を設置する場所については、次の点にご注意ください。

○ 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置はさけてください。
○ 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
○ 振動の多い場所や、不安定な場所に設置しないでください。
○ 充分な換気ができるように、本体前面、および側面をふさがないように設置してください。
○ テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
○ 本製品は屋外ではご使用になれません。
○ 指定された電源電圧(AC100-240V)以外で使用しないでください。
※ 本製品背面に貼付されている定格ラベルには、本書記載の仕様と異なり、「Power: 100-240VAC ～」と記載されておりますが、動作保証される入力電圧は100-120V となりますので、ご注意ください。

マグネットによる取り付け

本体背面のマグネットを使用すると、本製品を簡単にスチール面へ取り付けることができます。

設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。

指示
ケーブルの重みにより、機器が落下しないように確実に取り付けてください。落下により、ケガの原因となることがあります。

禁止
マグネットで機器を高所に取り付けないでください。機器の落下により、ケガの原因となることがあります。

禁止
マグネットで機器を振動、衝撃の多い場所や不安定な場所に取り付けないでください。機器の落下により、ケガの原因となることがあります。

禁止
マグネットで機器をOAデスクなどに取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつくおそれがあります。

禁止
マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。
磁気の影響により、記録内容が消去されるおそれがあります。

禁止
マグネットをパソコンやディスプレイなど、磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により、故障の原因となることがあります。

マグネットの設置面によっては、内部の部品が磁束の影響を受け通信に不具合が起こる場合がまれにあります。その場合はマグネット設置面を変更するなどの対応を行ってください。

接続のしかた

● **ケーブル**
すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。
本製品とコンピューターなどを接続するケーブルの長さ、また、本製品と HUB やスイッチを接続するケーブルの長さはすべて 100m 以内にしてください。
また、ケーブルは 100BASE-TX の場合はカテゴリー5以上、10BASE-Tの場合はカテゴリー3以上のUTPケーブルを使用してください。

● **起動と停止**
図2のように電源ケーブルのプラグを電源コンセントに差し込むと起動します。
電源プラグをはずすと停止します。

図2　電源ケーブルの接続

● **通信モード**
接続先の機器の通信モードは、表1の○印の組み合わせになるように設定してください。
IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定します。

		自ポート (CentreCOM FS708TP V2)
相手ポート	10M Half	○
	10M Full	―
	100 Half	○
	100 Full	―
	オートネゴシエーション	○

表 1　通信モードの組み合わせ

Full Duplex時のフローコントロールは、接続先の機器もIEEE802.3x Flow Control 準拠の機器をサポートし、両機器がオートネゴシエーションで接続されている場合に限り機能します。

● **接続手順**
1. 本体下面の **10BASE-T/100BASE-TX ポート**に UTP ケーブルを接続します。
2. ネットワークに接続するコンピューターなどに、10BASE-T/100BASE-TX ネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTP ケーブルのもう一方をコンピューターなどのネットワークインターフェースカードに接続します。
3. 電源ケーブルのプラグを電源コンセントに差し込みます。
4. 本体上面の**POWER LED**(緑)が点灯したことを確認します。
UTP ケーブルが正しく接続され、コンピューターなどの電源が入っていれば、接続したポートの **LINK/ACT LED**(緑)が点灯します。

スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用することができます。
本製品とコンピューターなどとの間のUTPケーブルの長さは **100m** 以内です。

図３　スタンドアローンの接続例

カスケード接続

カスケードポート(= HUB ポート)を使用すると、ケーブルをクロスタイプに変更することなく、簡単にカスケード接続を行うことができます。
また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

本製品と HUB やスイッチを接続する UTP ケーブルの長さは **100m** 以内です。

カスケード接続をする場合は、本体下面のカスケードポート(= HUBポート)にUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続し、UTPケーブルのもう一方の端を、接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

図４　カスケード接続の例

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、次のことをご確認ください。

● **POWER LED は点灯していますか？**
POWER LED が点灯しない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● **LINK/ACT LED は点灯していますか？**
LINK/ACT LED は接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。
点灯しない場合は、次のことを確認してください。

○ 接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。
また、コンピューターなどに取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

○ UTP ケーブルが正しく接続されているか、正しい UTP ケーブルを使用しているか、UTP ケーブルが断線していないかなどを確認してください。
また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。
本製品とコンピューターなどを接続するケーブルの長さ、本製品と HUB やスイッチを接続するケーブルの長さはすべて **100m** 以内です。

○ 接続先の機器の通信モードを確認してください。
本製品の **10BASE-T/100BASE-TX ポート**(**カスケードポート**)は、オートネゴシエーション機能をサポートしています。
IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

○ 本製品の**カスケードポート**を確認してください。
本製品の**カスケードポート**(= HUB ポート)を使用して、HUBやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと他のHUBやスイッチの通常の 10BASE-T/100BASE-TXポートをUTPケーブル(ストレートタイプ)で接続してください。

○ HUB を接続している場合、HUB の数が制限を越えていないか確認してください。
10Mbps 接続の場合、本製品にカスケードできる HUB の数は 4 段までとなります。
100Mbps接続の場合、本製品にカスケードできるクラスⅠHUB の数は 1 段、クラスⅡ HUB の数は 2 段までとなります。

○ 特定のポートが故障している可能性もあります。
ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

● **通信は正常に行われていますか？**
マグネットと設置面との磁束の影響を受けていないか確認してください。
マグネットを設置する面によっては、通信不良が起こる場合がまれにあります。そのときは、設置する面を変更してください。

製品仕様

サポート規格	
	IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3x Flow Control
適合規格	
EMI規格	VCCI クラスA
安全規格	UL60950
スイッチングモード	
	ストア&フォワード方式
メモリー容量	
パケットバッファー	256KByte
データ転送速度	
10BASE-T/100BASE-TX	10Mbps/100Mbps
MACアドレス登録数	
	8K（最大）
電源部	
定格入力電圧	AC100-120V
入力電圧範囲	AC90-132V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.5A
平均消費電力	4.3W（最大5.0W）
平均発熱量	3.7kcal/h（4.3kcal/h）
環境条件	
動作温度	0℃～40℃
動作湿度	80%以下（結露なきこと）
保管温度	-20℃～60℃
保管湿度	95%以下（結露なきこと）
外形寸法	
	258(W) ×57(D) ×34(H)mm
重量	
	340g

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

※ 本製品背面に貼付されている定格ラベルには、上記仕様と異なり、「Power: 100-240VAC ～」と記載されておりますが、動作保証される入力電圧は100-120V となりますので、ご注意ください。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

● **保証の制限**
本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命･身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、当社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

本体の故障などのユーザーサポートは、裏の「**調査依頼書(CentreCOM FS708TP V2)**」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。電話による直接のお問い合わせは、できるだけご遠慮ください。FAX で詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。
記入内容の詳細については、「**調査依頼書のご記入にあたって**」をご覧ください。

○ **アライドテレシス サポートセンター**
Tel : 0120-860-772
月～金曜日(祝･祭日を除く)　9:00 ～ 12:00
13:00 ～ 18:00

Fax : 0120-860-662
年中無休 24 時間受け付け

調査依頼書のご記入にあたって

「**調査依頼書**」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。
迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、次の点にそってご記入ください。
記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

● **ご使用のハードウェア機種について**
製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。
製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の背面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)　S/N 0047744990805087 Rev A1

● **お問い合わせ内容について**
○ どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
○ エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● **ネットワーク構成図について**
○ ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
○ 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

○ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
○ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
○ 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

2002 年 5 月　　Rev.A　　初版